

仙台市議会議員 (青葉区) 岡部 恒司

## 仙台市議会活動レポート

令和3年第3回定例会報告

2021年 秋 号

ホームページは  
こちらです！

■発行人 岡部恒司

■ご意見ご要望は…〒981-0933 仙台市青葉区柏木2-4-16-501 TEL022-271-1770 <http://okabekoji-sendai.jimusho.jp>

今回の仙台市議会レポートは、令和3年第3回定例会の報告を致します。  
今定例会では、計17億7100万円を増額する補正予算など議案20件、意見書案4件を可決いたしました。

主な補正予算は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で大幅減収となった飲食店や関連事業者に支払う「時短要請等関連業者支援金」の再々支給額を増額する2億6200万円や、「ヤングケアラー」の実態調査費490万円なども計上いたしました。

また、県の4病院再編方針を巡り、市への積極的な情報提供を求める決議案も全会一致で可決いたしました。

今回のレポートは、私、岡部が「会派 自由民主党」の代表質疑に登壇した際の質疑と答弁の要点、他会派代表質疑の質疑項目の一部を掲載させていただきました。是非一読いただき皆様の仙台市政へのご意見を頂戴したいと考えております。

## 令和3年第3回定例会 会派自由民主党代表質疑抜粋

## 選挙結果について

**質問** 20万9千余りに及ぶ得票と、84.4%という過去最高の得票率を得て、圧倒的大差により当選をされ、第36代仙台市長に引き続き就任されたことに心からお祝いを申し上げます。

一方で、投票率が29.9%と過去最低を記録し、無効票は1万498票で、白票が約7千票にも上っている。過去最高の得票率を得た一方、過去最低の投票率を記録し、白票も多いというこの結果をどう受け止めているのか。

今回の市長選を経て与野党の構成がずいぶん変わった。以前は与党が半数以下であったが、現在は市長を応援した有志の会を含む圧倒的多数の議員が与党集団を形成し、議場の大部分を占めている。

市長はこの議席の並びを眺めてどう感じているのか。

**答弁** コロナ禍という大変難しい状況ではあったが、様々な市民の方々、そして多くの議員の皆様から力強いご理解とご支援を賜り改めて皆様からの負託の重みに身が引き締まる思いだ。

市政をめぐる課題が山積しており、二元代表制のもと、議会の皆様からはまさに車の

両輪として、今まで以上に忌憚のない率直な意見と議論をいただきながら、新たな杜の都に向けたチャレンジを重ねていきたい。

**質問** 県と市の関係は、コロナ対策はもとより本市のまちづくり、さらには財政負担のあり方等にも大きく関わってくる。知事選にあたり市長はどういうスタンスで臨むつもりなのか。また今後、県・市双方に関わる重要課題に対し、知事との連携、関係性をどう保っていく考えなのか伺う。

**答弁** 時として、私と知事の間で意見が異なることもあるが、知事とは公式・非公式を問わず率直に意見交換を行うことができる関係を築いており、今後とも県・市それぞれの状況に応じて適切に取り組み市民福祉の向上につなげていきたい。

**質問** 将来にわたり持続的・魅力的な都市づくりを力強く進めていくためには、財源の充実を図り、国から十分な財政措置を引き出していくことに加え、必要な要望や提言を適時適切に効果的に行っていくことが極めて重要だ。そのためには国政との強いパイプを確保することが必要だ。今後どんなやり方で取り込んでいく考えか。

**答弁** 市議会をはじめとする多くの皆様方のお力も頂戴しつつ、地方の実情を国政に届けながら、これまで以上に国の持つ権限や財源を、有効活用を図り本市の将来に向けたまちづくりを進めていく考えだ。

### 新型コロナウイルス感染症対策について

**質問** 市長は2期目に臨むにあたり、喫緊の課題は何よりも新型コロナウイルス感染症対策であるとして、市民の命と健康を守り地域経済の一刻も早い回復に向かうためにも、感染拡大をなんとしても食い止めなければならない、という強い意志を表明された。コロナ禍をどのようにして、いかに早く乗り越えようとしていく考えなのか。

**答弁** 地域経済の回復に向けた歩みを力強く踏み出していくためにも、働き盛りや若い世代のワクチン接種を加速しつつ、感染拡大の予兆をいち早く捉え、機動的に必要な対策を講じることで感染拡大の防止に努めていく。



### 2期目に重視する施策について

**質問** コロナ禍を経て見えてきた新たな課題もある。市民そして地域経済が先の見えないコロナ禍での暮らしに疲弊し、不安を募らせている。まさに今こそ市民が未来に希望を抱くことができるそんな施策が強く望まれている。

2期目の公約に「笑顔咲く杜の都へ市民とともに」というテーマを掲げた。コロナ感染症対策は当然のこととして、市長は市民の顔に笑顔を取り戻すため、いかなる施策を重視して進めていく考えか。

**答弁** 「まちづくりの主役は人である」という私の理念を盛り込み、困難を抱えている女性や若い世代の方々が安心して暮らし、活躍することができるよう、さらなる子育て応援等を推進していく。

また選ばれる街・仙台の実現に向け、スーパーシティー構想や都心再構築、音楽ホール整備等の具現化やトップセールスによる企業誘致の取り組みを加速していく。

### スーパーシティーについて

**質問** スーパーシティー構想はこれからの本市の都市力向上、競争力アップにつなが



# Super City

### J-Tech challenges SDGs

るものと期待する。今後の見通しと新たに進める狙い、意義とスーパーシティー構想との関係性を伺うとともに、選定に向けた市長の意気込みを伺う。

**答弁** スーパーシティー構想は、学都の特性を最大限に活かしながら本市の新たなまちづくりの姿を発信し、仙台が内外から選ばれ都市となるため極めて重要な一手である。

現在、本市も東北大学や事業者の皆様方と連携して準備を進めている。様々なデータを連携・共有することにより最先端のサービス提供を目指すスーパーシティー構想の根幹事業で、選定に先立って取り組むことにより早期の実現につなげていきたい。

### 本市のデジタル化推進について

**質問** デジタル化の推進にあたり「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」を基本原理に掲げており、日ごろから市民と直接触れ合う機会が多い基礎自治体こそ、この原則をしっかりと踏まえるべきだ。

この基本原理を踏まえることの重要性や施策においてその趣旨をどう活かしていくのか、市長の認識を問う。

**答弁** 計画では、障害のある方への配慮や高齢者など、誰にも優しいデジタル化「人を中心としたDX」といった考え方を明確にしている。今後、先端技術の活用や地域産業の活性化などの取り組みに加え、市民の誰もが安心、簡単に使い利便性を実感できる取り組みとなるよう配慮しながら進めていく。

**質問** 多くの市民がデジタル化の良さを早期に実現できることが求められる。このファーストチャレンジや計画に掲げる取り組みに関して、現時点での進捗や今後の見通しについて伺う。

**答弁** 子育てに関するオンライン相談の実施、工事担当部署でのタブレット端末の導入、業務効率化に資するデジタルツールの活用等の取り組みが進んでいるほか、窓口でのキャッシュレス決済について今年度中の試行的導入等に向け準備を進めている。

## 1歳児受け入れ推進事業について

**質問** 待機児童解消に向け待機児童の約半数を占める1歳児の受け入れ枠の拡充を目指すものだが、現場をどう捉えているのか、また本事業の狙いや期待する効果について伺う。

**答弁** ここ数年待機児童の約半数を1歳児が占めている状況を踏まえ、0歳児枠を1歳児枠に転用し児童を受け入れた際に、その公定価格の差額の一部を助成する。1歳児の受け皿のさらなる確保を図り、来年度の待機児童解消につなげていきたい。



**質問** 待機児童解消に向けて本事業だけではなく、施設整備や相談支援体制の充実など、総合的な取り組みが求められている。改めて待機児童解消に向けた今後の取り組みと市長の決意について伺う。

**答弁** 来年度当初には保育を希望するすべての家庭の期待に応えていきたいという強い思いだ。「1歳児受け入れ推進事業」により既存の保育施設の空き定員枠の活用を図り、保育入所に関わる利用調整をきめ細かく行うことなど、来年度当初の待機児童ゼロの実現に向け力を尽くしていきたい。

## ヤングケアラー実態調査について

**質問** ヤングケアラーは、本人の年齢に見合わない重い負担を負うもので、それが本人の育ちに悪い影響を与えることが課題とされている。小学5年、中学2年、高校2年を対象に調査を行うと伺っている。調査対象の考え方や調査手法、今後のスケジュールについて伺う。

**答弁** 調査票の配布は学校を通じて行い、児童生徒は無記名で回答したものを返信封筒で直接提出する流れを考えている。合わせてパソコンやスマートホン等から回答できるネット環境の活用についても検討している。

**質問** 支援が必要な家庭や子供に対して個別に支援している事は承知しているが、調査結果を踏まえ、今後どんな取り組みを進めていくのか見解を問う。

**答弁** ヤングケアラーをめぐるのは、支援が必要な状



態であるにもかかわらず、問題が潜在化し周囲から気づかれずにいる子供たちを、いかに早期に把握して支援につなげるかという点が重要である。関係機関の連携のあり方も含め組織横断的な検討を進めていきたい。

## 音楽ホールについて

**質問** 市長は「わが国トップクラスの音楽ホールを作る」という一方で、整備候補地については明言を避けた。音楽ホールの整備を着実に前進させるためには、立地に対する市長の考えを明らかにしていただくことが必要だ。その実現のために必要となる立地場所に関する検討状況と市長の考えを伺う。

**答弁** 思い描く音楽ホールは、品格のある雰囲気の中で最高の音響を実現し、国内外の著名なオーケストラなどの演奏に触れられるといった、ハード面でのトップクラスである事はもとより、市民の皆様の文化芸術活動をさらに飛躍させる舞台として、ソフト面でもトップクラスを目指したいというものだ。

早期に建設地を決定し、新たな魅力を生み出す、世界に誇る総合的な文化芸術の拠点づくりに向けて前進していきたい。



## 財政運営及び行財政改革について

**質問** 今年度の予算額は、すでに昨年度を上回る市債管理基金からの借入金を計上していることを考えると、新年度の予算編成をはじめ、今後の財政運営の危うさは否めない。この決算の状況についての認識、総括を伺う。

**答弁** 予算編成における施策の重点化や国費等の積極的活用、地域経済の再生による市税収入の回復に加え、執行段階においても効果的な事業手法の工夫など様々な方策を講じ、財政運営の持続性を確保していく必要があると認識している。

**質問** 半年近く経過し税額の決定や申告納付も進んでいるが、今年度の市税収入についてどう見込んでいるのか。

**答弁** 令和3年度の市税収入は当初予算より78億円増加の2,138億円と見込んでいる。

しかし、令和2年度決算と比較すると約50億円の減収となり、新型コロナウイルス感染症の発生前の水準には至らず、引き続き厳しい状況が見込まれる。

**質問** 令和6年度までの3年間の収支差は約947億円前後と見込まれている。こうした見通しの中であっても、本庁舎の建て替えや音楽ホールといった大規模プロジェクトをはじめ、将来に向けた施策を着実に進めていくことが、これからの仙台に求められる。地元企業が活力を取り戻し、収益をしっかりと確保し市税収入の増加につなげていくといった、地域経済の好循環が欠かせない。今年度、次期仙台市役所経営プランを策定するが、持続可能な行財政運営に向け、プランの策定スケジュールや方向性について伺う。

**答弁** 徹底的な事務事業の見直しや業務プロセスの最適化などを通じて、未来への投資を続けるための財源の捻出や効率的な組織運営に取り組んでいく。年内には草案を取りまとめ議会に示し、パブリックコメントを実施し年度末までに策定していきたい。

### 仙台市児童福祉施設条例の改正について

**質問** 待機児童の解消が目前に迫り、また本市の保育事業が近い将来減少に転じることが見込まれるなど、本市の保育を取り巻く環境は大きく変わりつつある。公立保育所の今後について長期的な視点に立った検討を行う時期に来ているが、当局の見識を伺う。

**答弁** 時代環境の変化や民間事業者の状況も十分に踏まえ、持続可能な保育の供給体制を将来にわたり確保できるよう、鉄筋コンクリート造りなど10カ所の公立保育所について民設民営を含めた具体的なあり方の検討に着手していく。

### 時短要請について

**質問** 度重なる時短要請が続いてきた本市地域経済の現状を当局はどう認識しているのか。また要請の対象となる飲食店には協力金が支給されるが時短要請の対象とはならないが、影響の大きい関連事業者



に対してはさらなる支援が必要と考えるが如何か。

**答弁** 緊急事態措置等による影響を踏まえると、さらなる支援が必要と考え、第三次となる関連事業者支援金事業を実施することとし、補正予算案の追加提案をする準備を進めている。こうした制度の周知や申請支援も併せて行いながら、地域経済の再生を図っていきたい。

**質問** 時短要請や感染防止対策への協力に対し、誠実に協力し取り組んでいる事業者がいる一方で、要請に従わない事業者や店舗が依然として存在している。こうした一部の事業者を放置しておけば不公平感から、これ以上協力したくないと考える事業者も増えてくるのではないかと。要請に協力しない事業者に焦点を当てたより強い取り組みを行うべきだが如何か。

**答弁** スピード感を持って命令・公表のスキームに乗せられるよう努め、前回より多くの飲食店への命令・公表に結びつけることができたものと考えている。

**質問** 警察の協力を仰いで調査員の身の安全を確保しながら、見回り調査の実を上げるべきではないか、如何か

**答弁** 同行までは難しいが、調査時に危険が伴うことも想定し、最寄りの交番等に対し、当日調査を行う飲食店の情報を事前に提示しておき、万一の場合には即座に対応できるよう手配をしている。職員の安全確保と調査の確実な実施の両立を図っていく。

### 県の認証制度への評価について

**質問** 苦心して認証を取得した飲食店にとってしっかりメリットが与えられなければ、これから認証を申請しようとする店舗も意欲をなくしてしまい、市民に利用を進めるにも認証店の数が伸び悩んでいかないのではないかと。今後の展望を県と市でどう捉え進めていこうとしているのか伺う。

**答弁** 認証店は、7月下旬からの時短要請の

際に要請対象外とされていたほか、現在のまん延防止等重点措置期間においては時短営業の上で酒類提供は認められるなどのインセンティブが与えられた。こうした事は飲食店の皆様の認証に向けての意欲を高める効果があるものと思う。より多くの飲食店の申請及び認証の加速化に向け、さらなる協力や働きかけを行っていききたい。

### 感染症対策の課題と今後の対応について

**質問** 今回、前回の波を大きく上回る規模で到来したこの第5波ともいえる感染拡大への対応について現時点でどう評価しているのか。また新たな課題に対し今後どう取り組んでいくつもりなのか伺う。

**答弁** 保健所が担う積極的疫学調査や検査の受診調整、入院調整等の業務は概ね円滑に対応できたものと認識している。一方で患者が急増した時期に宿泊療養施設への入所に、時間を要する状況が見られるなどの課題もあった。

新たな変異株の流行などによるさらなる感染拡大も見据え、保健所の体制確保についてもさらなる取り組みを進めていく。

### 病院事業会計について

**質問** 日ごろから救急患者の受け入れや、新型コロナウイルス陽性患者の対応をしている病院管理者並びに職員の皆様に深く感謝申し上げます。市立病院において陽性患者の病床確保はどう対応してきたのか。

**答弁** 入院患者数の制限や予定手術の延期など、通常診療の規模を一部縮小することなどにより人員体制を整えてきた。今後とも感染の動向を注視し、通常診療体制への影響も考慮しながら、病床確保に努め、安全・安心な医療を提供するという当院の使命を確実に果たしていききたい。

**質問** 医療機関への受診控え等により、多くの病院が感染症の影響を受け収益が悪化



しており、令和2年度の決算では市立病院の事業損益も前年度に比べ6億2000万円悪化し、今年度に入っても厳しい状況が続いている。今後の見通しについて伺う。

**答弁** 新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見通せない中、通常診療体制を継続し収益の安定的な確保を図るには大変厳しい状況だ。引き続き国の支援策を最大限活用しながら患者確保に向けたさらなる取り組みを進めるなど、経営計画に定める目標を着実に達成していくことにより経営基盤の強化に職員一丸となって取り組んでいく。

### 新型コロナウイルスワクチンの接種について

**質問** 満12歳以上の接種券をお持ちの方全てが接種可能となった。今後、全世代にわたって接種が進むことを期待するが、現在の接種状況に関する認識を伺う。

**答弁** 若年層を中心に、さらなる接種の加速化が重要と考えており、今月から平日夜間帯の接種や、市中心部における新たな集団接種会場の追加など、働く世代や学生の方などが接種しやすい体制作りを進めている。

**質問** 国も希望する方への接種を11月末までに完了させるとしている。速やかな接種完了に向けた取り組みを期待するところだが、今後の見通しを伺う。

**答弁** 現在までのところ11月末までには希望される方が着実に接種を受けられるとの見通しを持っている。



### 中小企業チャレンジ補助金について

**質問** 既に事業提案の募集採択が行われ、採択予定件数を大幅に上回る応募があったと聞いている。コロナ禍における経済環境の変化に対応し、生き残りをかけてチャレンジしようという気概を持つ事業者が、市内にも多数おられる事は大変心強く、本事業の意義について、さらには今後の進め方について伺う。

**答弁** チャレンジ補助金は感染症による社会の変化に適応するため、新たな商品やサービスの開発、新分野展開など、前向きに挑戦する市内事業者の支援を目的に本年度実施しているものだ。

年度内に数回に分けて事業の公募を行うとともに必要に応じて専門家の伴奏支援を取り入れながら、コロナ禍における事業者の前向きな挑戦を支えていきたい。

## イベント支援について

**質問** 大型観光イベントの開催は、本市の交流人口の拡大に大きく貢献するものであり、次年度の本格再開に向けてしっかりと支えていく必要がある。今後どう支援していく考えなのか伺う。

**答弁** 本格再開に向け、開催ノウハウの継承や、協賛金収入の減少といった課題も懸念されることから、引き続きイベント主催者や関係者の皆様と意見交換を行いながら、必要な支援について検討していきたい。

**質問** 屋外イベントに対する今後の支援策のあり方は、如何か。

**答弁** 意欲のあるイベント主催者を支援できるよう改めて募集を実施したい。引き続き参加する方、主催する方、双方にとって安全安心なイベントの再開を後押しすることにより、地域のにぎわい創出につなげていきたい。

## 医療機関の統合について

**質問** 市内病院の移転を行わないよう求めており、知事に対して情報提供を積極的に行うとともに、市民や関係団体の意見を丁寧に聞きながら検討を進めるよう求めてきた。今回突然県が方向性を示したことについて市長の受け止めをまず伺う。

また市民の命と健康を守るためには、その協議に参加し、しっかり意見を述べていく必要があると考える。市長として今後どう対応していくつもりなのか。

**答弁** 県が4病院による新たな再編の枠組みを突然公表したことについて非常に驚いており、大変遺憾なことと受け止めている。丁寧な情報の開示、意見交換を行っていくことを知事に対して改めて強く求めていく。



**質問** 仮に市域外に両病院が移転することとなった場合、本市の救急搬送体制、並びに市内医療体制に対してどんな影響が及ぶと認識しているのか。

**答弁** 両病院は救急告示病院として本市の救急搬送の約1割にあたる年間4000名を超える患者を受け入れている。仮に市域外に移転した場合には、その大半を他の医療機関にお願いすることとなるため、本市の救急搬

送体制全体に影響が生じるものと懸念している。今後仙台医療圏はもとより、本市の救急搬送体制に影響が生じないように最大限配慮される必要があると認識している。

## ガス事業民営化について

**質問** 市長のガス事業民営化にかけた思いについて確認する、如何か。

**答弁** ガス事業を永続的に発展させること、市民の皆様方へのサービスが向上し、地域経済が活性化する事が図られることを目指した。仙台の街の発展につなげたいという強い思いで進めてきた。

**質問** これまで民営化を推進するべき、という立場で進捗状況をお尋ねし意見を申し上げてきたが、これまでの答弁は一体何だったのか。まさに驚きを持って今回の報告を聞いたわけだが、ここに至る経緯を伺う。

**答弁** 応募者との相互理解が不足していたのではないかと、というご指摘については真摯に受け止め、選定の進め方を含め検証を行い、今後に生かしていきたい。

**質問** 今回の判断に至った理由は如何か。

**答弁** 事業計画の面で、需要家数が急激に減少するなど、民営化のメリットを市民、ユーザーに対して十分に打ち出せたとまでは言えないという答申があった。苦渋の選択ではあったが優先交渉者なしと決定した。

**質問** 今回のガス事業民営化の進捗が本市財政に与える影響についてどう考えているのか。

**答弁** 本市の財政運営に直ちに影響を及ぼすものではないと認識している。

**質問** 本市が「公」として求めたものと応募者が「民」として考えたことの間に残念ながらズレがあったというふうに取り扱われる。市長は今回の結果をどう受け止め今後どう対応していくつもりなのか。

**答弁** ガス事業の永続的発展はもとより、市民サービスの向上や地域経済の活性化に資するものと思いで進めてきたもので、大変残念に思っている。今後、民営化の目的を実現するためには何がベストかという観点で民営化の取り組みを進めていく。



## 他会派 代表質疑 質疑項目

### 公明党

**質問** 入院待機中の新型コロナ感染者の容体悪化時に酸素投与の応急措置を行う「酸素センター」の設置を進めるべき。

**答弁** 新型コロナ患者の療養は、症状に応じて入院または宿泊療養を原則とし、極力自宅療養を行わないこととしている。県設置の宿泊療養施設では医療スタッフが常駐するとともに、酸素濃縮器が配備され、患者の容体が悪化し、酸素投与が必要な場合には対応できる体制である。このうち1施設では医師が常駐し、点滴、投薬等の対応も行っており、酸素投与機能の強化も行われている。

引き続き感染状況に応じ医療的機能も備えた宿泊療養施設の確保など、必要な療養体制の確保を図る。

**質問** 未来を担う青年を支援する教育ローンの利子補給、奨学金返還支援事業の執行状況を問う。また、県が新設した「宮城結婚支援センター」の市の関わりを求める。

**答弁** 教育ローンの利子補給は、令和元年度が80人・95万円余り、令和2年度が73人・86万円余りを補給し、奨学金返還支援事業は令和元年度は65名、令和2年度は115名を交付対象として認定した。

みやぎ結婚支援センターは、市ホームページ等を通じて事業の周知に取り組んでいく。

### せんだい自民党

**質問** 市長選挙の投票に対する認識と改善策及び、2期目の覚悟について市長の所見を伺う。

**答弁** 投票率の低さ等については、コロナ禍も要因と考えられるが、市政自体に対する市民の関心も影響したのではと重く受け止めている。投票率の改善には有権者の意識啓蒙等の観点から取り組んでいるが、市政への理解を広げるための丁寧な説明や積極的な情報発信が重要だと捉えており、今後いっそう取り組むとともに、新たな杜の都の実現に向けチャレンジを重ねていく。

**質問** 東北労災病院・仙台赤十字病院の現地存続のための支援や、仮に移転となった場合の移転候補地を用意する意思があるのか伺う。

**答弁** まずは県に方針の根拠となる情報の本市への提供と、市民等への説明や意見交換

の場を持つことを強く求める。また、関係自治体との情報交換や各医療機関の運営状況等の分析の実施に加え、市民等の意見も伺いながら本市としての具体的な対応を速やかに検討する。

### 市民フォーラム仙台

**質問** 病院統合・再配置は知事選の争点にはなじまない。山本壮一郎元知事が、市町村と県の関係について、住民が暮らす市町村を良くするために後方支援をするのが県の役割と述べていたことを思い出す。

知事と話し合い、適切な医療体制確保に向け、強い決意で臨むよう求める。

**答弁** 東北労災病院と仙台赤十字病院は、本市の救急医療や周産期医療等の医療提供体制に重要な役割を果たしており、仙台市民への影響が大きい。地域住民の命と健康を守り安心して生活できるよう、医療資源をどう活用するかが重要。県には、市民・県民や医療関係者等の理解が得られるよう、丁寧な情報開示や意見交換を重ねながら進めることなどを求めている。

キーリットリ

## みなさんの声で住みやすい仙台を!

市政に関するご意見・地域のお困り事がございましたら  
お気軽にお知らせください。

●仙台市政に対してのご意見を一言お願いいたします。

キ  
ー  
リ  
ット  
リ

仙台市議会議員 **岡部恒司**

お電話でご協力をいただければ幸いです。

連絡先 TEL 022(271)1770

朝8時より夜6時までの時間帯でお願いいたします。

FAX 022(271)1786

**質問** コロナ後遺症が出ている方へのフォローは急務。早急な対応を求める。

**答弁** 療養を終えた方から相談が寄せられた際には、適切な医療につながるよう丁寧な対応に努めたい。また、後遺症でお困りの方々の調査についてどのような手法で調査ができるか検討したい。

## 日本共産党

**質問** PCR検査センターを泉区と太白区に増設することや、市が検査費用の一部を補助することで希望する人が気軽に検査を受けられるよう、検査体制を充実すべき。

**答弁** 検査センターの増設は利便性が向上する一方で場所の選定や整備等に課題がある。検査費用は一般の検査より低く抑えられており受験者の費用負担は軽減されている。引き続き、検査需要を見定めながら、必要に応じて検査センターの検査能力の拡充を図るなどの対応を検討したい。

**質問** 「仙台ふるさと応援寄付」への寄付金が増えたことで浮いた一般財源で、農家から米を買い上げ、地場の食料品をセットにして、コロナ禍で苦しむ学生や児童扶養

手当受給世帯等に届けるべき。

**答弁** 大学生等には国の学生支援緊急給付金や給付型奨学金の拡充を含めた高等教育の修学支援新制度による支援、困難を抱える子育て家庭には、米を含む食料品の配布も合わせたアウトリーチ支援等もしてきた。

提案の趣旨を生かした方策は想定しにくい民間の力の活用も含め、どのような方策が可能か検討したい。

## 社民フォーラム

**質問** 新型コロナの感染拡大による医療崩壊を防ぐために、臨時医療施設等による医療提供体制の強化を図るべきではないか伺う。

**答弁** 本市では陽性患者の症状に応じ、入院または宿泊療養施設での療養を原則としており、宿泊療養施設においては医療スタッフが24時間常駐し、酸素濃縮器の配備など一定の医療提供体制を整えている。このうち1施設では、医師が常駐し抗体カクテル療法を行うなど、医療的機能を強化しており、今の段階では臨時医療施設と一緒だと考えている。引き続き県や医療機関と連携し感染状況に応じ宿泊療養施設の医療的機能の拡充など必要な体制を確保する。

**質問** ガス事業民営化に関わる優先交渉権者なしとの判断は妥当。民営化によるサービス向上の具体性を示せなかったことが問題ではないか。

**答弁** これまでガス局ホームページや広報誌「くらしの炎」を活用し周知に努めてきたが、民営化の推進にあたり利用者の理解を得ながら進める事は重要であり、今後とも時期を捉えながら必要な説明を丁寧に行っていく。

郵便はがき

9 8 1 0 9 3 3

岡部恒司行

仙台市議会議員

仙台市青葉区柏木2丁目4番16号501

投函される場合は、恐れ入りますが、52円切手を貼付してご投函お願いします。

※是非ご記入ください。

ご住所	お名前
	様

みなさんの声で  
住みやすい仙台を!

市政に関するご意見・地域のお困り事が  
ございましたらお気軽にお知らせください。

左記のハガキにてご投函ください。  
または、お電話・FAXでも承ります。

TEL 022(271)1770 FAX 022(271)1786